学校生活おける強制全裸体験がもたらす心理的・社会的影響

調査者：佐藤 遥（○○大学教育学部4年）

調査期間：202X年6月15日～7月20日

調査手段：男女の当事者各1名に対し、取材およびインタビューを実施。

調査目的：学校生活で異性もいる環境で強制的に全裸にされる経験がもたらす感情の変遷、トラウマ形成の詳細プロセス等への波及効果を解明し学術的に深く分析する。

1. 事件概要

平成XX年Y月Z日。都内A中学の2年A組での出来事。

年に一度の身体測定の日に、教師の「今年は全員、全裸で身体測定を行います。みんな、服を全部脱いでください。」との一言により、男女混合全裸身体検査が行われることになった。

この教師の一言で教室は騒然となるが、教師の圧力と周囲の無言の視線により、徐々に脱衣を強いられた。

男女全員全裸まで完全に脱衣が完了した後、教室から廊下へ男女交互に一列で並び移動した。

そこで女子の胸やお尻の揺れ、男子のおちんちんのぶんぶんとした動きがさらに羞恥と興奮を増幅させた。

保健室到着後は、身長・体重測定、スリーサイズの男女相互による測定、ペアの女子

による男子のおちんちんの勃起長測定、最後に全裸集合記念撮影が行われた。

なお、男子の勃起測定時は、ペアの女子の裸体を利用して勃起を促したり、維持されることが行われた。

この身体測定の後、男子による女子の全裸写真の拡散、休み時間の女子へのおちんちん見せつけ行為、日常的な性的からかいが続き、クラス全体の人間関係は不可逆的な亀裂を生じた。